

第 1 回学校評価アンケートまとめ

【三者の平均値比較表】

項 目	児 童	保護者	教職員
自分の考えを、理由をつけて話したり書いたりしている 【保護者】学校で学んだことや考えたことを家で話す 【教職員】「深い学び」を実現する授業を行っている	3.36	3.22	3.40
家で、宿題や勉強に取り組んでいる	3.41	2.91	3.50
本を読んだり、読もうとしたりしている	2.86	2.52	3.00
自分の考えを進んで話している	2.95	—	3.90
むずかしくても、あきらめずに取り組んでいる	3.00	2.91	3.80
友だちと力を合わせて、最後までがんばっている	3.55	3.22	3.50
外で遊んだり、体を動かしたりしている	3.50	3.22	3.70
いろいろな運動にチャレンジしている	3.45	2.78	3.70
にがてなことにも、がんばって取り組んでいる	3.23	2.78	3.90
地域の暮らしや生活、よさや課題を見つけることがある 【保護者】地域のことに興味をもち調べたり体験したりしている	2.55	2.91	3.30
学んだことを、友だちや家の人に伝えている 【保護者】自分なりの考えをもっている	3.27	3.17	3.50
安心して学校生活を過ごしている	3.73	3.65	3.80
自分にはよいところがあると思う	3.32	3.17	3.50
学校が楽しい	3.91	3.61	3.70

【保護者が学校に期待すること】

項 目	票数	項 目	票数
基礎的・基本的な学力の育成	14	地域の特性を生かした特色ある教育活動	4
自分の考えを相手に伝える力の育成	10	生命や人権尊重の教育	2
人を思いやる心や感謝の気持ちの育成	10	健康・安全教育	1
一人一人に応じた指導	7	善悪の判断	1
わかる楽しい授業	7	自分に自信を持てる考え方を身に付けられる関わり	1
挨拶や礼儀	6	ボランティア活動	0
読書活動	5		

【三者の評価を受けての考察】

1 「深い学び」にかかわって

「自分の考えを理由をつけて話したり書いたりしている」は児童 3.36、保護者 3.22、教職員 3.40 であり、三者とも概ね肯定的な評価であった。一方、「自分の考えを進んで話している」は児童 2.95 にとどまった。自分の考えをもつことはできているが、根拠を明確にして伝える力には課題が見られる。授業内で、対話や説明の場面を充実させ、深い学びの推進を図ることが大切である。

2 「深い学び」に向かう土台

安心して自分の考えを表現し、仲間と学び合うことのできる土台は整っていると考えられる。「友だちと力を合わせて最後までがんばっている」は児童 3.55、保護者 3.22、教職員 3.50 と三者とも高い評価であった。少人数校のよさを生かした教育活動によって、互いに協力しながら活動する姿勢や思いやりの心が育まれていることがうかがえる。また、「学校が楽しい」は児童 3.91、保護者 3.61、教職員 3.70、「安心して学校生活を過ごしている」は児童 3.73、保護者 3.65、教職員 3.80 と、いずれも高い評価となった。児童一人一人に寄り添った指導や、安心できる学級づくりが成果として表れていると考えられる。

3 読む力・書く力の向上

「本を読んだり、読もうとしたりしている」は、児童 2.86、保護者 2.52、教職員 3.00 と全体的に低い結果であった。また、保護者の期待する教育活動においても「読書活動」が挙げられていることから、学校・家庭が連携しながら読書習慣の定着を図る必要がある。

4 地域学習の成果を実感できる工夫

「地域の暮らしや生活、よさや課題を見つけることがある」は児童 2.55 と最も低い結果となった。保護者は 2.91、教職員は 3.30 であり、三者の認識に差が見られる。教職員は地域学習に取り組んでいるという認識をもっているが、児童自身がその学びを十分実感できていない可能性が考えられる。

5 粘り強く挑戦する力を育成する

「むずかしくても、あきらめずに取り組んでいる」は児童 3.00、保護者 2.91、教職員 3.80 であった。児童が成長を実感できる活動や振り返りを充実させ、一歩踏み出し粘り強く行動する力の育成を図る。

【考察を受けて取り組んでいくこと】 ※考察の番号と対応しています

1 「深い学び」の推進

- ・理由や根拠を明確にして説明する活動の充実
- ・児童同士が考えを比較・共有する対話活動の充実
- ・振り返りを通して自分の考えの変容を自覚する場面の設定

2 「深い学び」に向かう土台づくり

- ・安心して発言できる学級づくりの継続
- ・協働的な学習活動の充実(互いのよさや考えを認め合う学習環境)

3 読む力・書く力の向上

- ・図書室や町図書館を活用した読書機会の確保(朝読書や隙間時間を活用)
- ・読んだことや考えたことを書く活動の充実
- ・家庭との連携による家庭学習、読書習慣の定着

4 地域学習の充実

- ・地域のよさや課題について考える探究的な学習の充実
- ・地域人材や地域資源を活用した学習の推進
- ・学習の振り返りや発信活動の充実(学びを自分事として捉える機会)

5 粘り強く挑戦する力の育成

- ・挑戦する過程を認める指導の継続(苦手なことにも挑戦できる学習環境)
- ・目標設定と振り返りの充実(成功体験を積み重ねる活動)